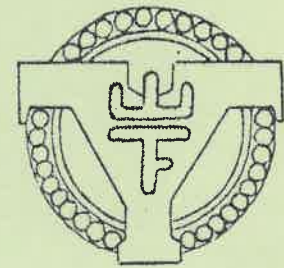


山下小学校 木造校舎
お別れ式・お別れの会しおり

昭和61年3月15日



横浜市立山下小学校

横浜市立山下小学校木造校舎お別れ式

式次第

1. はじめのことば
2. 校歌斉唱
3. 校長先生の話
4. P T A 会長の話
5. 児童代表のことば
6. 来賓の話
7. 横浜市歌斉唱
8. おわりのことば

木造校舎 さよなら集会（児童集会）

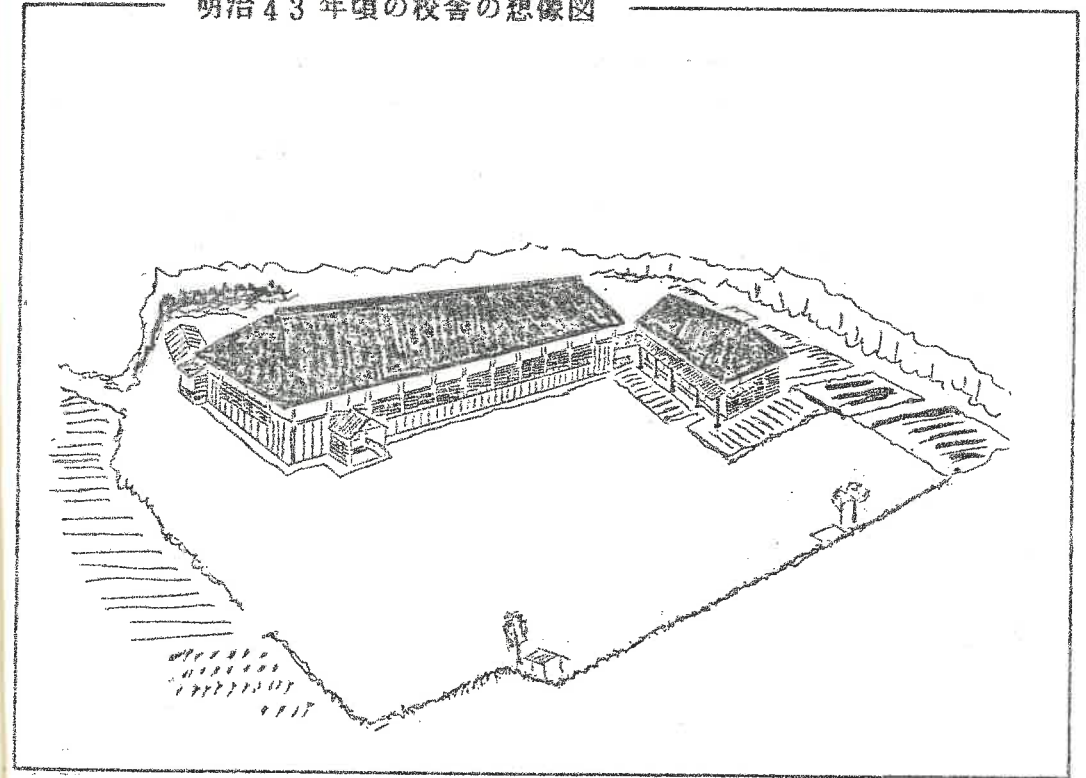
横浜市立山下小学校・木造校舎お別れの会

次第

1. 開会のことば
2. 校歌斉唱
3. 発起人代表挨拶
4. 学校長挨拶
5. 来賓挨拶
6. 乾 盃
7. 懇 談
 - ・アトラクション
 - PTA コーラス
8. 閉会のことば

学校のあゆみ

明治43年頃の校舎の想像図



横浜市立山下小学校

明治5年 7月、西八朔宮前観照院に、十日市場中村にあった塾を移し「中村学舎」と称す。ここに西八朔、北八朔、十日市場の児童を集めて教授し犬塚治三郎氏がその任にあたる。

明治17年 7月7日、校舎を北八朔山下に移し「中村小学校」と称す。民家を借り（現在の宮田重太郎氏宅地）、青砥、小山、西八朔、北八朔を学区とする。

明治25年 4月1日、「神奈川県都筑郡中里村立尋常中村小学校」と改称する。

明治27年 8月、新校舎落成する。（現在の安田丈吉氏宅地1769番地に至る）
建坪合計60坪（15坪2教室、10坪1教室、湯呑場、応接所各3坪）

明治36年 児童数増加のため校舎増築の議興る。8月に起工し、11月落成する。木造平屋建52坪（2教室、教員住宅）この折、前面の土手を崩し、山林を削って通学路を拡げ、児童の通学の便を図る。また、有志家の尽力により、田数10歩を求め、校舎の敷地に充てる

明治41年 4月1日、「神奈川県都筑郡尋常中村小学校」と改称する。校舎が狭いので、5・6年生は谷本小学校に転校させる。

明治43年 4月1日、5・6年生を他校に委託することを廃し、校舎を改築して3教室とし、複式授業を行なう。

大正5年 実業補習学校を付設。

大正9年 3月、校舎工事のため、仮教場に移る。
10月、開校式挙げる。（木造平屋立27坪1教室）

大正12年 4月1日、「神奈川県都筑郡中村小学校」と改称する。
9月1日、関東大震災により新校舎倒壊する。

大正13年 1学級増加し、4学級となる。

昭和3年 4月1日、1学級増となり5学級となる。

昭和4年 11月30日、1教室及び校具室を増設し、運動場の拡張を図る。

昭和6年 4月1日、6学級編成となる。

昭和7年 女子補習学校始業式挙げる。（授業は篠原家の養蚕室を借用）

昭和10年 6月13日、ラジオ設置する。
7月1日、従来の補習学校を廃止し、青年学校を併設する。

昭和14年 4月1日、「横浜市山下尋常小学校」と改称する。

昭和16年 4月1日、「横浜市山下国民学校」と改称する。
7月11日、旧校舎を1782番地の畑（篠原道治氏所有）に移転改築を決定する。9月4日、起工式を挙げる。

昭和17年 6月10日、新校舎、改築校舎竣工落成する。（木造2階建、延168坪、6教室・便所・小使い室）

昭和18年 電話架設される。（川和局59番）

昭和19年 1月24日、併設の山下青年学校廃止となり、谷本青年学校に統合される。
8月27日、市内神橋国民学校6年生90余名の疎開児童に下校舎の使用を認める。

昭和20年 5月10日、空襲頻繁となり、県指令に基づき分散授業を実施する。
9月1日、分散授業を廃止する。
10月18日、学区内に疎開していた神橋国民学校疎開分団の解散式を行なう。

昭和21年 5月7日、海軍倉庫の払い下げを受け、本校農産加工工場とする。

昭和22年 5月1日、「横浜市立山下小学校」と改称する。

昭和26年 12月、校舎増改築竣工する。(木造平屋建、建坪7坪、小使い室の1部と給食調理室)

昭和28年 3月9日、2教室(木造平屋建、57坪、付便所、昇降口)の改築竣工につき落成式を行なう。

昭和31年 3月、校章を学区居住者より公募。石綿勝太郎氏の作品を当選と決定する。

昭和32年 5月、建坪57坪、2教室を移築する。

昭和33年 11月4日、教員住宅、作業場の取りこわし始まる。

昭和34年 2月14日、教員住宅払い下げ資材にて、物置・渡り廊下・教室間切り工事終わる。
4月5日、低地(篠原氏用地、350坪)埋め立て工事完了する。

昭和35年 3月31日、校舎(木造2階建、4教室)増改築が行なわれ、この日竣工する。

昭和36年 1月5日、運動場の540.75坪、市の所有となる。この月小島商店の移動が決まる。
4月、プレハブ2教室取り付け完了。
7月12日、木造2階建2教室(48坪)落成する。

昭和37年 4月2日、木造2階建4教室(付西側昇降口、水呑場2ヶ所)落成する。
9月12日、水道設備完了。
12月、西側便所工事完了。

昭和38年 8月2日、校舎裏に観察用池を作る。
9月1日、小鳥小屋を作る。
11月11日、宿直室(3坪)を増設する。

昭和39年 7月、貯水槽を改修してプールとして、水泳指導を始める。

昭和41年 仮設教室1棟2教室を新設する。

昭和42年 10月8日、校旗・校歌の発表と運動会を兼ねて行なう。
(校歌作詞・勝承夫氏、作曲・井上武士氏)

昭和43年 8月10日、山下方面校々地造成工事着工する。

昭和44年 5月16日、山下方面校々地造成工事竣工する。
12月、山下方面校々舎建築(鉄筋)工事着工する。

昭和45年 8月24日、山下方面校々舎落成、同月27日、落成式を挙げる。
9月1日、方面校を山下小学校分校とし、2学期始まる。

昭和46年 4月1日、仮設教室1棟2教室を増設する。
5月26日、分校9教室増築工事着工する。
11月30日、分校第2期工事竣工する。(教室9、校長室1、カウンセラー室1、職員室1)

昭和47年 2月20日、本校校庭のプレハブ教室2棟(4教室)を撤去する。
3月20日、分校々門設置する。
5月30日、分校プール工事着工する。
8月12日、プール開きを挙げる。
同月、分校々庭に遊具を設置する。
11月3日、創立100周年記念式典、祝賀会を挙げる。

昭和48年 9月1日、講堂落成。

昭和49年 1月1日、本校、分校の校名入れ替え、変更する。
2月13日、分校にプレハブ2教室を設置する。
6月22日、本校第3期増築工事着工する。

昭和50年 2月22日、本校第3期増築工事竣工、落成式挙げる。
3月16日、分校のプレハブ2教室を撤去する。

昭和58年 3月15日、本校プール専用便所、循環機室新設工事完了する。

昭和59年 4月9日、校庭整備工事完了する。

- ・学習施設（教材園、岩石園、造形用砂場）
- ・運動施設（体育用砂場、バスケットゴール、コンビネーション遊具、鉄棒）
- ・造園施設（花壇、観賞用池、ヘチマ棚）
- ・散水施設（スプリンクラー、屋外水飲み場）
- ・運動場全面改装、排水設備
- ・付帯施設（駐車場全面舗装、児童歩行通路カラー塗装）
- ・防護施設（門扉、門壁、校名板、防球ネット）

昭和60年 3月13日、体育館付帯施設工事完了する。

8月7日、本校増築工事開始する。

12月4日、本校校庭に投的板を設置する。